



心こそ大切 心を育む

「これからの子どもたちが生きる世界は激動の時代」と言われたりすると、どうしても不安な気持ちが先行します。「AI が…ChatGPT が…」等の横文字の言葉がそれを更に加速させます。しかし、いかに時代が変わろうと心の強さが人の幸不幸を決めるということに変わりはないように思います。人生は苦難や苦労の連続です。誰もがそんな苦労とは無縁でありたいと思っても、そんな人生はあり得ません。「バラの木が棘（とげ）を持っていることに腹を立つべきではない。むしろ、棘（とげ）の木がバラの花をつけるのを喜ぶべきである」という言葉があるように、苦難も見方一つでガラリと変わります。苦難が来るたび「人が悪い、環境が悪い」という愚痴と不平で終わるならその人に成長はないでしょう。苦難を成長の好機と捉えて努力する人には偉大な栄冠が輝きます。ならば、私たちが子どもたちに対して行うべきことは、目の前の苦難を刈り取ってやることではなく、それに立ち向かう心を教えていくことではないか—そう思うのです。そのためにも、私たち大人は自分の生きる姿を通して子どもたちの「心」を育むことが大切だと思います。

新年度が始まって1カ月。その思いを新たにしながら様々な取り組みを行っています。

地域の皆様、保護者の皆様、今後ともよろしくお願いいたします。

校長 澤田 章



4月10日 1年生を迎える会を行いました。
みんなで体をゆらして歓迎の歌を歌いました。



4月15日 1年生の初めての給食の日でした。エプロン先生も手伝いに来てくれました。当番の仕事も頑張っています。いただきます。



4月25日 授業参観、懇談会を行いました。
多くの方に来ていただき、ありがとうございました。



GW、健康や安全に気をつけて過ごしていただけたらと思います。
楽しい思い出いっぱいのGWになりますように。